

令和6年度シラバス（ 体育 ）

学番25 新潟県立新発田農業高等学校

教科(科目)	体育	単位数	3単位	学年(コース)	1 学年(全コース)
使用教科書	大修館書店『現代高等保健体育』（体育理論）				
副教材等	大修館書店『現代高等保健体育ノート』（体育理論）				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①心身ともに健康で調和のとれた人格の形成を目指すとともに、現代の農業に対応し、地域に貢献できる力を育成する。 ②体験的な活動をととして、望ましい勤労観・職業観を育み、多様な課題に対応できる能力を育成する。 ③社会や地域の一員としての自覚を持ち、自らの成長のために挑戦しようとする心を育成する。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①知識や技能を習得させ、主体的に学習に取り組む態度を養う教育活動を展開します。 ②課題研究などの授業を通して、課題解決を図る探究的な学習活動に取り組みます。 ③地域や外部機関と連携し、地域や社会の方々との交流活動に取り組みます。

2 学習目標

心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的・計画的な実践を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てると共に、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を育てる。

3 学習計画

※知・知識・技術、思・思考・判断・表現、主・主体的に学習に取り組む態度

学期	月	授業計画	学習内容	時間	評価の観点※			備考
					知	思	主	
一学期	4	・オリエンテーション ・集団行動 ・ラジオ体操	・入室方法、評価方法等の説明 ・姿勢、整とん、列の増減 方向変換、番号のかけ方 ・声を出して大きくラジオ体操	3 3 3	 ○	 ○	 ○	・リーダーとしてグループの動きを士気する。 ・授業への取り組み
	5	・体づくり運動 持久走	・校舎外周（0.4km）25分走 男子 8周（3.2km） 女子 7周（2.8km） 男女 2km計測（記録会）	13	○	○	○	・規定周回は必ず走ること。 ・記録測定 ・授業への取り組み
	6	・体力テスト	新体力テストの実施 ①握力②上体起こし③長座体前屈 ④シャトルラン⑤反復横跳び ⑥50M⑦立ち幅跳び ⑧ハンドボール投げ	3	○	○	○	・体力テストの結果より、不足している体力の向上を目指して運動する。
	6 7	・陸上競技	・競走・跳躍・60/50Mハードル、走り幅跳	18	○	○	○	・記録に挑戦する。相手と競争する。 ・各種目の記録測定 ・基本的な技を滑らかに安定して行う。 ・実技テスト

								・各種目、授業への取り組み
二 学 期	9	・ラジオ体操 ・体育理論 (大修館書店『最新高等保健体育』・大修館書店『最新高等保健体育ノート』)	・声を出して大きくラジオ体操 ・『運動・スポーツの文化的特徴』 ①人間にとって「動く」とは何か ②スポーツの始まりと変遷 ③スポーツ文化の楽しみ方	2 3	○ ○	○ ○	○	・ラジオ体操テスト ・ノート、ワークシートの提出 ・授業への取り組み
	9 10 11	選択－1 ・サッカー ・ソフトボール ・バドミントン	・サッカー ルール、パス、ドリブル シュート練習、簡易ゲーム ・ソフトボール ルール、キャッチボール、 バッティング練習、 簡易ゲーム ・バドミントン クリア、ドライブ、ヘア ピンなど基本的な技術が できるようにする。 簡易ゲーム	18	○	○	○	・作戦を生かした攻防ができるようになる。 ・互いに協力して練習やゲームが出来るようになる。 ・チームや自己の能力に応じて運動の技能を高め、作戦を生かした攻防ができるようになる。 ・各種目の実技テスト ・各種目、授業への取り組み
	11 12	選択－2 ・バレーボール ・バスケットボール	・バレーボール ルール、サーブ・レシーブ・トス・スパイク練習 簡易ゲーム ・バスケットボール ルール、パス、ドリブル、 シュート練習 簡易ゲーム	18	○	○	○	・作戦を生かした攻防ができるようになる。 ・互いに協力して練習やゲームが出来るようになる。 ・チームや自己の能力に応じて運動の技能を高め、作戦を生かした攻防ができるようになる。 ・各種目の実技テスト ・各種目、授業への取り組み
三 学 期	1 2	選択－3 ・柔道 ・バドミントン	・柔道 礼法作法の習得 受け身の習得 寝技の基本技能習得 立技の基本技能習得 ・バドミントン クリア、ドライブ、ヘアピンなど基本的な技術ができるようにする。 簡易ゲーム	18	○	○	○	・武道の特性を理解する。 ・作戦を生かした攻防ができるようになる。 ・互いに協力して練習やゲームが出来るようになる。 ・チームや自己の能力に応じて運動の技能を高め、作戦を生かした攻防ができるようになる。 ・各種目の実技テスト ・各種目、授業への取り組み
	3	・体育理論 (大修館書店『最新高等保健体育』・大修館書店『最新	・『運動・スポーツの文化的特徴』 ①オリンピックと国際理解 ②スポーツと経済	3	○	○		・知識の重要性を実感できるようになる。 ・ワークシートの提出

	高等保健体育ノートⅡ	③ドーピングとスポーツ心理				・授業への取り組み
--	------------	---------------	--	--	--	-----------

計105時間 (50分授業)

4 評価規準と評価方法

体育実技分野の評価は次の観点から行います。			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	運動技能の仕組みと運動の学び方についての理解できているか。 自己の能力と運動の特性に応じた課題解決を目指し、運動を行い、技能を高めている。	自己のグループの能力と運動の特性に応じた課題を見つけ出している。	運動の楽しさや、喜びを味わうことができるように自ら進んで計画的に運動しようとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・出席を第一とし、実技に参加すること。見学がないこと。やむを得ない場合は、見学用紙を記入する。技能、能力よりも、関心、意欲、積極性を高く評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・出席を第一とし、実技に参加すること。見学がないこと。やむを得ない場合は、見学用紙を記入する。技能、能力よりも、関心、意欲、積極性を高く評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・出席を第一とし、実技に参加すること。見学がないこと。やむを得ない場合は、見学用紙を記入する。技能、能力よりも、関心、意欲、積極性を高く評価します。

体育理論の評価は次の観点から行います。			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について理解している。	スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について、学習した知識を活用したり応用したりしている。	スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について、課題を解決するための活動を通して、学習に主体的に取り組もうとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ノートやワークシートの提出状況、授業への積極的な取り組み姿勢を総合的に判断して評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ノートやワークシートの提出状況、授業への積極的な取り組み姿勢を総合的に判断して評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ノートやワークシートの提出状況、授業への積極的な取り組み姿勢を総合的に判断して評価します。

5 課題・提出物等

体育実技に関しては、各単元、各種目を選択別に学習していく中で、実技テストを行います。

年間を通して2回に分けて『体育理論』を学習します。この授業では、教科書やノートを使った授業の他に、ビデオ視聴やワークシートを使って授業を進め、スポーツの歴史や現代スポーツの特徴について学んでいきます。その際に、ノートの提出やワークシートの提出が求められます。

6 担当者からの一言

まずは、しっかりとした態度でスポーツに関わる心を作ります。集団行動で始まり、集団行動で終わる。みんなと協力し、安全に楽しく運動できることが最優先です。そのためには、道具の管理、体の管理、他者への思いやりを持って体育に向き合ってください。自分なりの目標を持てば、豊かなスポーツライフを実現できるでしょう。

(担当： 体育科)

令和6年度シラバス（保健）

学番25 新潟県立新発田農業高等学校

教科(科目)	保健	単位数	1単位	学年(コース)	1学年(全コース)
使用教科書	大修館書店『現代高等保健体育』				
副教材等	大修館書店『現代高等保健体育ノート』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①心身ともに健康で調和のとれた人格の形成を目指すとともに、現代の農業に対応し、地域に貢献できる力を育成する。 ②体験的な活動をととして、望ましい勤労観・職業観を育み、多様な課題に対応できる能力を育成する。 ③社会や地域の一員としての自覚を持ち、自らの成長のために挑戦しようとする心を育成する。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①知識や技能を習得させ、主体的に学習に取り組む態度を養う教育活動を展開します。 ②課題研究などの授業を通して、課題解決を図る探究的な学習活動に取り組みます。 ③地域や外部機関と連携し、地域や社会の方々との交流活動に取り組みます。

2 学習目標

個人および社会生活における心身の健康・安全についての理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

3 学習計画

※知・知識・技術、思・思考・判断・表現、主・主体的に学習に取り組む態度

学期	月	授業計画	学習内容	時間	評価の観点※			備考
					知	思	主	
一学期	4	【現代社会と健康】 ①『健康の考え方と成り立ち』 ②『私たちの健康のすがた』	・国民の健康水準と疾病構造の変化、健康の考え方と成り立ちについて、教科書及び、学習ノートを使用して学習する。時間により動画の活用。	3	○	○	○	・ノート提出 ・授業への取組
	5	③『生活習慣病の予防と回復』 ④『がんの原因と予防』 ⑤『がんの治療と回復』	・健生活習慣病・がんと日常生活について、教科書及び、学習ノートを使用して学習する。時間により動画の活用。	3	○	○	○	・ノート提出 ・授業への取組
	6	⑥『運動と健康』 ⑦『食事と健康』 ⑧『休養・睡眠と健康』 ⑨『喫煙と健康』	・生活習慣病と日常生活について、教科書及び、学習ノートを使用して学習する。時間により動画の活用。	4	○	○	○	・ノート提出 ・授業への取組
	7	定期考査			○	○		
二学期	7	⑩『飲酒と健康』 ⑪『薬物乱用と健康』	・飲酒、薬物乱用と健康について、教科書及び、学習ノートを使用して学習する。時間により動画の活用。	3	○	○	○	・ノート提出 ・授業への取組

	9	⑫『精神疾患の特徴』 ⑬『精神疾患の予防』 ⑭『精神疾患からの回復』	・心身の相関、ストレスへの対処、自己実現について、教科書及び、学習ノートを使用して学習する。時間により動画の活用。	4	○	○	○	・ノート提出 ・授業への取組
	10	⑮『現代の感染症』 ⑯『感染症の予防』 ⑰『性感染症・エイズとその予防』	・感染症および性感染症、エイズとその予防について、教科書及び、学習ノートを使用して学習する。時間により動画の活用。	4	○	○	○	・ノート提出 ・授業への取組
	11	⑱『健康に関する意思決定・行動選択』 ⑲『健康に関する環境づくり』	・健康に関する意思決定や行動選択、健康に関する環境づくりにいて、教科書及び、学習ノートを使用して学習する。時間により動画の活用。	4	○	○	○	・ノート提出 ・授業への取組
	12	定期考査			○	○		
三 学 期	12	【安全な社会生活】 ①『事故の現状と発生要因』 ②『安全な社会の形成』 ③『交通における安全』	・交通安全の現状、交通社会に必要な資質と責任、安全な社会づくりについて、教科書及び、学習ノートを使用して学習する。時間により動画の活用。	3	○	○	○	・ノート提出 ・授業への取組
	1	④『応急手当の意義とその基本』 ⑤『日常的な応急手当』	・応急手当の意義、日常的な応急手当について、教科書及び、学習ノートを使用して学習する。時間により動画の活用。	3	○	○	○	・ノート提出 ・授業への取組
	2	⑥『心肺蘇生法』	・気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AEDの原理やその方法について、教科書及び、学習ノートを使用して学習する。時間により動画の活用。	3	○	○	○	・ノート提出 ・授業への取組
	2	定期考査			○	○		
	3	まとめ		1			○	

計 35 時間 (50 分授業)

4 評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	個人の生活や社会生活の健康や安全について、課題解決に役立つ知識を理解し身につけている。	自分のこれまでの体験や資料などを元に、学習課題の設定や解決の方法を考え判断することができる。 応急手当等の技能が身につけている。	健康を維持するために必要なことについて関心を持とうとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・授業に対する意欲、関心、態度と出席状況、定期考査および課題提出状況 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業に対する意欲、関心、態度と出席状況、定期考査および課題提出状況 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業に対する意欲、関心、態度と出席状況、定期考査および課題提出状況 などから、評価します。

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A「話すこと・聞くこと」 25 時間	B「書くこと」 30 時間	C「読むこと」 15 時間
-----------------	-----------------------	------------------	------------------

※ 増単している場合は、増単した割合に応じた授業時数を確保すること。

5 課題・提出物等

年間を通して3回の定期考査を行います。この考査では学習内容への理解度を評価します。また、学習ノートの提出状況、毎時間の授業に臨む意欲、関心、態度などの取り組み姿勢を評価していきます。

6 担当者からの一言

週に1回しかない授業ですので欠席、遅刻がないように注意してください。また、応急手当や心肺蘇生法については技能として身につけ緊急の状況下でも冷静に行動できるように学習を深めてください。単に病気やケガをしていないことが健康であることは当然ですが、自他共に、肉体的にも精神的にも社会的にも健康な状態であることが本質的な健康であることを心がけて学習し、生活することがとても大切です。

保健は、理解することだけでなく、今後の生活に生かすことができなければ意味がない授業でもあります。実生活を思い出しながら、今後の生活に活用できるよう努めてください。

(担当： 体育科)

令和6年度シラバス（体育） 学番 25 新潟県立新発田農業高等学校

教科（科目）	体育	単位数	2単位	学年（コース）	2学年（全コース）
使用教科書	大修館書店『現代高等保健体育』（体育理論）				
副教材等	大修館書店『現代高等保健体育ノート』（体育理論）				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①心身ともに健康で調和のとれた人格の形成を目指すとともに、現代の農業に対応し、地域に貢献できる力を育成する。 ②体験的な活動をととして、望ましい 勤労観・職業観を育み、多様な課題に対応できる能力を育成する。 ③社会や地域の一員としての自覚を持ち、自らの成長のために挑戦しようとする心を育成する。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①知識や技能を習得させ、主体的に学習に取り組む態度を養う教育活動を展開します。 ②課題研究などの授業を通して、課題解決を図る探究的な学習活動に取り組みます。 ③地域や外部機関と連携し、地域や社会の方々との交流活動に取り組みます。

2 学習目標

心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的・計画的な実践を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てると共に、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を育てる。

3 学習計画

学期	月	授業計画	学習内容	時間	評価の観点※			備考
					知	思	主	
一学期	4	・オリエンテーション ・集団行動 ・ラジオ体操	・入室方法、評価方法等の説明 ・姿勢、整とん、列の増減 方向変換、番号のかけ方 ・声を出して大きくラジオ体操	3 3 3	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	・リーダーとしてグループの動きを士気する。 ・授業への取り組み
	5	・体づくり運動 持久走	・校舎外周（0. 4km）25分走 男子 8周（3. 2km） 女子 7周（2. 8km） 男女 2km計測（記録会）	13	○	○	○	・規定周回は必ず走ること。 ・記録測定 ・授業への取り組み
	6	・体力テスト	新体力テストの実施 ①握力②上体起こし③長座体前屈 ④シャトルラン⑤反復横跳び ⑥50M⑦立ち幅跳び ⑧ハンドボール投げ	3	○	○	○	・体力テストの結果より、不足している体力の向上を目指して運動する。
	6 7	選択ー1 ・陸上競技	・競走・跳躍・60/50Mハードル、 走り幅跳	18	○	○	○	・記録に挑戦する。相手と競争する。 ・各種目の記録測定 ・基本的な技を滑らかに安定して行う。 ・各種目、授業への取り組み

	9							
二 学 期		・ラジオ体操 ・体育理論 (大修館書店『最新高等保健体育』・大修館書店『最新高等保健体育ノート』)	・声を出して大きくラジオ体操 ・『運動・スポーツの文化的特徴』 ①人間にとって「動く」とは何か ②スポーツの始まりと変遷 ③スポーツ文化の楽しみ方	2 3	○ ○	○ ○	○	・ラジオ体操テスト ・ノート、ワークシートの提出 ・授業への取り組み
	9 10 11	選択－2 ・サッカー ・ソフトボール ・バドミントン	・サッカー ルール、パス、ドリブル シュート練習、簡易ゲーム ・ソフトボール ルール、キャッチボール、 バッティング練習、 簡易ゲーム ・バドミントン クリア、ドライブ、ヘアピ ンなど基本的な技術がで きるようにする。 簡易ゲーム	18	○	○	○	・作戦を生かした攻防がで きるようになる。 ・互いに協力して練習やゲ ームが出来るようになる。 ・チームや自己の能力に応 じて運動の技能を高め、作 戦を生かした攻防がで きるようになる。 ・各種目の実技テスト ・各種目、授業への取り組み
	11 12	選択－3 ・バレーボール ・バスケットボール ・バドミントン	・バレーボール ルール、サーブ・レシーブ・ トス・スパイク練習 簡易ゲーム ・バスケットボール ルール、パス、ドリブル、シ ュート練習 簡易ゲーム ・バドミントン クリア、ドライブ、ヘアピ ンなど基本的な技術がで きるようにする。 簡易ゲーム	18	○	○	○	・作戦を生かした攻防がで きるようになる。 ・互いに協力して練習やゲ ームが出来るようになる。 ・チームや自己の能力に応 じて運動の技能を高め、作 戦を生かした攻防がで きるようになる。 ・各種目の実技テスト ・各種目、授業への取り組み
三 学 期	1 2	選択－3 ・バレーボール ・バスケットボール ・バドミントン	・バレーボール ルール、サーブ・レシー ブ・トス・スパイク練習 簡易ゲーム ・バスケットボール	18	○	○	○	・作戦を生かした攻防がで きるようになる。 ・互いに協力して練習やゲ ームが出来るようになる。 ・チームや自己の能力に応 じて運動の技能を高め、作

			ルール、パス、ドリブル、シュート練習 簡易ゲーム ・バドミントン クリア、ドライブ、ヘアピンなど基本的な技術ができるようにする。 簡易ゲーム					戦を生かした攻防ができるようになる。 ・各種目の実技テスト ・各種目、授業への取り組み
	3	・体育理論 (大修館書店『最新高等保健体育』・大修館書店『最新高等保健体育ノート』)	・『運動・スポーツの文化的特徴』 ①オリンピックと国際理解 ②スポーツと経済 ③ドーピングとスポーツ心理	3	○	○		・知識の重要性を実感できるようになる。 ・ワークシートの提出 ・授業への取り組み

計 70 時間 (50 分授業)

4 評価規準と評価方法

	体育実技分野の評価は次の観点から行います。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	運動技能の仕組みと運動の学び方についての理解できているか。自己の能力と運動の特性に応じた課題解決を目指し、運動を行い、技能を高めている。	自己のグループの能力と運動の特性に応じた課題を見つけ出している。	運動の楽しさや、喜びを味わうことができるように自ら進んで計画的に運動しようとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・出席を第一とし、実技に参加すること。見学がないこと。やむを得ない場合は、見学用紙を記入する。技能、能力よりも、関心、意欲、積極性を高く評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・出席を第一とし、実技に参加すること。見学がないこと。やむを得ない場合は、見学用紙を記入する。技能、能力よりも、関心、意欲、積極性を高く評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・出席を第一とし、実技に参加すること。見学がないこと。やむを得ない場合は、見学用紙を記入する。技能、能力よりも、関心、意欲、積極性を高く評価します。

	体育理論の評価は次の観点から行います。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	運動・スポーツの技能や作戦や練習法、トレーニングや安全確保について理解している。	運動・スポーツの技能や作戦や練習法、トレーニングや安全確保について、学習した知識を活用したり応用したりしている。	運動・スポーツの技能や作戦や練習法、トレーニングや安全確保の学習に主体的に取り組もうとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ノートやワークシートの提出状況、授業への積極的な取り組み姿勢を総合的に判断して評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ノートやワークシートの提出状況、授業への積極的な取り組み姿勢を総合的に判断して評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ノートやワークシートの提出状況、授業への積極的な取り組み姿勢を総合的に判断して評価します。

5 課題・提出物等

体育実技に関しては、各単元、各種目を選択別に学習していく中で、実技テストを行います。 年間を通して2回に分けて『体育理論』を学習します。この授業では、教科書やノートを使った授業の他に、ビデオ視聴やワークシートを使って授業を進め、スポーツの歴史や現代スポーツの特徴について学んでいきます。その際に、ノートの提出やワークシートの提出が求められます。
--

6 担当者からの一言

まずは、しっかりとした態度でスポーツに関わる心を作ります。集団行動で始まり、集団行動で終わる。みんなと協力し、安全に楽しく運動できることが最優先です。そのためには、道具の管理、体の管理、他者への思いやりを持って体育に向き合ってください。自分なりの目標を持てば、豊かなスポーツライフを実現できるでしょう。

(担当： 体育科)

令和6年度シラバス（体育） 学番 25 新潟県立新発田農業高等学校

教科（科目）	保健		単位数	1単位	学年（コース）	2学年（全コース）
使用教科書	大修館書店『現代高等保健体育』（体育理論）					
副教材等	大修館書店『現代高等保健体育ノート』（体育理論）					

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①心身ともに健康で調和のとれた人格の形成を目指すとともに、現代の農業に対応し、地域に貢献できる力を育成する。 ②体験的な活動をととして、望ましい 勤労観・職業観を育み、多様な課題に対応できる能力を育成する。 ③社会や地域の一員としての自覚を持ち、自らの成長のために挑戦しようとする心を育成する。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①知識や技能を習得させ、主体的に学習に取り組む態度を養う教育活動を展開します。 ②課題研究などの授業を通して、課題解決を図る探究的な学習活動に取り組みます。 ③地域や外部機関と連携し、地域や社会の方々との交流活動に取り組みます。

2 学習目標

個人および社会生活における心身の健康・安全についての理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

3 学習計画

学期	月	授業計画	学習内容	時間	評価の観点※			備考
					知	思	主	
一学期	4	【生涯を通じる健康】 ①『ライフステージと健康』 ②『思春期と健康』 ③『性意識と性行動の選択』	・ライフステージおよび思春期と健康、性意識・性行動選択について、教科書及び、学習ノートを使用して学習する。時間により動画の活用。	3	○	○	○	・ノート提出 ・授業への取組
	5	④『妊娠・出産と健康』 ⑤『避妊法と人工妊娠中絶』	・妊娠・出産・避妊法・人工妊娠中絶について、教科書及び、学習ノートを使用して学習する。時間により動画の活用。	3	○	○	○	・ノート提出 ・授業への取組
	6	⑥『結婚と健康』 ⑦『中高年期と健康』	・結婚・中高年期と健康について、教科書及び、学習ノートを使用して学習する。時間により動画の活用。	4	○	○	○	・ノート提出 ・授業への取組
	7	定期考査			○	○		
二学期	7	⑧『働くことと健康』	・働くことと健康について、教科書及び、学習ノートを使用して学習する。時間により動画の活用。	3	○	○	○	・ノート提出 ・授業への取組
	9	⑨『労働災害と健康』	・労働災害、職業生活と健康について	4	○	○		・ノート提出

		⑩『健康的な職業生活』	て、教科書及び、学習ノートを使用して学習する。時間により動画の活用。				○	・授業への取組
	10	【健康を支える環境づくり】 ①『大気汚染と健康』 ②『水質汚濁・大気汚染と健康』 ③『環境と健康にかかわる対策』	・環境汚染と健康、環境にかかわる対策について、教科書及び、学習ノートを使用して学習する。時間により動画の活用。	4	○	○	○	・ノート提出 ・授業への取組
	11	④『ごみの処理と上下水道の整備』 ⑤『食品の安全性』 ⑥『食品衛生にかかわる活動』	・ゴミ及び上下水道、食品の安全・衛生にかかわる活動について、教科書及び、学習ノートを使用して学習する。時間により動画の活用。	4	○	○	○	・ノート提出 ・授業への取組
	12	定期考査			○	○		
三 学 期	12	⑦『保健サービスとその活用』 ⑧『医療サービスとその活用』	・保健・医療サービスの活用について、教科書及び、学習ノートを使用して学習する。時間により動画の活用。	3	○	○	○	・ノート提出 ・授業への取組
	1	⑨『医薬品の制度とその活用』 ⑩『さまざまな保健活動や社会的対策』	・医薬品の制度と活用、保健活動や社会的対策について、教科書及び、学習ノートを使用して学習する。時間により動画の活用。	3	○	○	○	・ノート提出 ・授業への取組
	2	⑪『健康に関する環境づくりと社会参加』	・健康に関する環境づくりと社会参加について、教科書及び、学習ノートを使用して学習する。時間により動画の活用。	3	○	○	○	・ノート提出 ・授業への取組
	2	定期考査			○	○		
	3	まとめ		1			○	

計 35 時間 (50 分授業)

4 評価基準と評価方法

評価は次の観点から行います。		
①関心・意欲・態度	②思考・判断	③知識・理解
健康を維持するために必要なことについて関心を持っている。	自分のこれまでの体験や資料などを基に学習する課題の設定や解決の方法を考え判断することができる。	個人の生活や社会生活の健康や安全について、課題解決に役立つ知識を理解し身につけようとしている。
以上の観点を踏まえ、授業に対する意欲、関心、態度を出席状況、課題提出状況等で判断します。また、定期考査により、評価します。		

5 課題・提出物等

年間を通して3回の定期考査を行います。この考査では学習内容への理解度を評価します。
また、学習ノートの提出状況、毎時間の授業に臨む意欲、関心、態度などの取り組み姿勢を評価していきます。

6 担当者からの一言

週に1回しかない授業ですので欠席、遅刻がないように注意してください。また、2年生は実社会に出て必要となる知識が凝縮しています。特に、環境問題などは、他教科で学んだことを理解した上で学んでいくと理解が深まるでしょう。
自分の家庭生活などを振り返りながら学習し、意義あるものにしてください。 （担当：体育科）

令和6年度シラバス（体育） 学番 25 新潟県立新発田農業高等学校

教科（科目）	体育	単位数	2単位	学年（コース）	3学年（全コース）
使用教科書	大修館書店『最新高等学校保健体育』（体育理論）				
副教材等	大修館書店『最新高等学校保健体育ノート』（体育理論）				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①心身ともに健康で調和のとれた人格の形成を目指すとともに、現代の農業に対応し、地域に貢献できる力を育成する。 ②体験的な活動をととして、望ましい 勤労観・職業観を育み、多様な課題に対応できる能力を育成する。 ③社会や地域の一員としての自覚を持ち、自らの成長のために挑戦しようとする心を育成する。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①知識や技能を習得させ、主体的に学習に取り組む態度を養う教育活動を展開します。 ②課題研究などの授業を通して、課題解決を図る探究的な学習活動に取り組みます。 ③地域や外部機関と連携し、地域や社会の方々との交流活動に取り組みます。

2 学習目標

心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的・計画的な実践を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てると共に、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を育てる。

3 学習計画

学期	月	授業計画	学習内容	時間	評価の観点※			備考
					知	思	主	
一学期	4	・オリエンテーション ・集団行動 ・ラジオ体操	・入室方法、評価方法等の説明 ・姿勢、整とん、列の増減 方向変換、番号のかけ方 ・声を出して大きくラジオ体操	2 2 2	 	 	 	・リーダーとしてグループの動きを士気する。 ・授業への取り組み
	5	・体づくり運動 持久走	・校舎外周（0. 4km）25分走 男子 8周（3. 2km） 女子 7周（2. 8km） 男女 2km計測（記録会）	9	○	○	○	・規定周回は必ず走ること。 ・記録測定 ・授業への取り組み
	6	・体力テスト	新体力テストの実施 ①握力②上体起こし ③長座体前屈 ④シャトルラン⑤反復横跳び ⑥50M⑦立ち幅跳び ⑧ハンドボール投げ	3	○	○	○	・体力テストの結果より、不足している体力の向上を目指して運動する。
	6	・陸上競技	・競走1000m	5	○	○	○	・記録に挑戦する。相手と競争する。 ・授業への取り組み
	7	選択－1	内容：2学期に記載	14	○	○	○	備考：2学期に記載

二 学 期		・ラジオ体操 ・体育理論	・声を出して大きくラジオ体操 ・『豊かなスポーツライフの設計』 ①生涯スポーツの見方・考え方 ②ライフスタイルに応じたスポーツ ③日本のスポーツ振興	2 3	○ ○	○ ○	○	・ラジオ体操テスト ・ノート、ワークシートの提出 ・授業への取り組み
	9 10	選択－1 ・サッカー ・ソフトボール ・バドミントン ・バレーボール	・生徒主導でゲームを楽しむことを目標とした主体的な授業。					・互いに協力してゲームが出来るようになる。 ・作戦を生かした攻防ができるようになる。 ・チームや自己の能力に応じて運動の技能を高め、作戦を生かした攻防ができるようになる。 ・各種目、授業への取り組み
	11 12	選択－2 ・バレーボール ・バスケットボール ・バドミントン ・卓球	・生徒主導でゲームを楽しむことを目標とした主体的な授業。	14	○	○	○	・互いに協力してゲームが出来るようになる。 ・作戦を生かした攻防ができるようになる。 ・チームや自己の能力に応じて運動の技能を高め、作戦を生かした攻防ができるようになる。 ・各種目、授業への取り組み
三 学 期	1 2	選択－3 ・バレーボール ・バスケットボール ・バドミントン ・卓球	・生徒主導でゲームを楽しむことを目標とした主体的な授業。	14	○	○	○	・互いに協力してゲームが出来るようになる。 ・作戦を生かした攻防ができるようになる。 ・チームや自己の能力に応じて運動の技能を高め、作戦を生かした攻防ができるようになる。 ・各種目、授業への取り組み

計 70 時間 (50 分授業)

4 評価規準と評価方法

	体育実技分野の評価は次の観点から行います。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	運動技能の仕組みと運動の学び方についての理解できているか。 自己の能力と運動の特性に応じた課題解決を目指し、運動を行い、技能を高めている。	自己のグループの能力と運動の特性に応じた課題を見つけ出している。	運動の楽しさや、喜びを味わうことができるように自ら進んで計画的に運動しようとしている。

評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・出席を第一とし、実技に参加すること。見学がないこと。やむを得ない場合は、見学用紙を記入する。技能、能力よりも、関心、意欲、積極性を高く評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・出席を第一とし、実技に参加すること。見学がないこと。やむを得ない場合は、見学用紙を記入する。技能、能力よりも、関心、意欲、積極性を高く評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・出席を第一とし、実技に参加すること。見学がないこと。やむを得ない場合は、見学用紙を記入する。技能、能力よりも、関心、意欲、積極性を高く評価します。
------	--	--	--

	体育理論の評価は次の観点から行います。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	豊かなスポーツライフのための生涯スポーツの見方・考え方やスポーツ振興活動について理解している。	豊かなスポーツライフのための生涯スポーツの見方・考え方やスポーツ振興活動について学習した知識を活用したり応用したりしている。	豊かなスポーツライフのための生涯スポーツの見方・考え方やスポーツ振興活動の学習に自主的に取り組もうとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ノートやワークシートの提出状況、授業への積極的な取り組み姿勢を総合的に判断して評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ノートやワークシートの提出状況、授業への積極的な取り組み姿勢を総合的に判断して評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ノートやワークシートの提出状況、授業への積極的な取り組み姿勢を総合的に判断して評価します。

5 課題・提出物等

体育実技に関しては、各単元、各種目を選択別に学習していく中で、実技テストを行います。
年間を通して2回に分けて『体育理論』を学習します。この授業では、教科書やノートを使った授業の他に、ビデオ視聴やワークシートを使って授業を進め、スポーツの歴史や現代スポーツの特徴について学んでいきます。その際に、ノートの提出やワークシートの提出が求められます。

6 担当者からの一言

まずは、しっかりとした態度でスポーツに関わる心を作ります。集団行動で始まり、集団行動で終わる。みんなと協力し、安全に楽しく運動できることが最優先です。そのためには、道具の管理、体の管理、他者への思いやりを持って体育に向き合ってください。自分なりの目標を持てば、豊かなスポーツライフを実現できるでしょう。
(担当： 体育科)